

「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」～新たな未来の創造～

みらい



9
2023

JA鹿児島みらい 広報誌No.36



ホオズキ出荷作業(P5)

9月号もくじ

- | | | | |
|-----|---------------|-----|-----------|
| P2 | みらいを繋ぐ | P14 | 読者からのおたより |
| P3 | ゲートボール大会 | P15 | お楽しみクイズ |
| P4 | トピックス | P16 | アートの広場 |
| P8 | 女性部通信 | | |
| P9 | 支店企画 | | |
| P10 | 消費税インボイス制度Q&A | | |
| P12 | 家庭菜園 | | |
| P12 | 不動産情報 | | |
| P13 | 旬を食べよう | | |
| P13 | JADDO優待店舗 | | |

新しい夢 どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島



JA鹿児島みらい



みらいを繋ぐ

園芸

桜島支店管内 桜島小みかん
 坂元 克明さん(49歳)・末奈子さん(38歳)

おふたりは3年ほど前に、克明さんの生まれ育った桜島に埼玉県からUターンし、農業を始めました。

桜島武町で桜島小みかん(紅さくら)栽培を中心に、空いている硬質ハウスを借りて指導を受けながらトマトやキュウリ・ナスなど旬の野菜を作っています。また、9月からはパッションフルーツ栽培にも挑戦するパワフルなおふたりです。

先に鹿児島に戻り、準備を進めてきた克明さん。1年遅れで末奈子さんとふたりの子どもたちが合流して、家族4人の生活が始まりました。

克明さんは結婚当初、定年退職後に鹿児島での農業を計画していましたが、コロナ禍や共働きでなかなか子どもたちと過ごす時間もない中で、このままではダメだと早期の移住と就農を決意。末奈子さんの承諾を得るために何度もプレゼンをして熱い想いを伝えました。

仕事のことや子どもたちの学校のこともあり、一足先に鹿児島に戻った克明さんは、桜島小みかんやせとかなどを作っている父親の後継者として就農しました。譲り受けた園地を受け継ぎながら、苗木から桜島小みか



んを作りたいと、機械も入れないほど木やカズラなどが生い茂る山を切り開いて50aの土地を確保し、紅さくら苗木(200本以上)を1本ずつ定植しました。定植した園地の隅には、開墾するときに掘り起こした巨大な木の根っこが今でも残っています。

現在は、日々生長し続ける苗木の管理作業で園地を回り、二人三脚で汗を流しています。

今後は、「農業だけで生活できるように努力して桜島全体の農業を盛り上げたい。労力をかけずに美味しい桜島小みかんを作って、消費者に喜ばれるような果実作りを頑張ります」と笑顔で話していました。

年金友の会 ゲートボール大会開催

7月12日、中山ふれあいスポーツランドの屋内運動場でゲートボール大会が開かれ、5支部10チーム、会員と関係者合わせて67人が参加しました。

開会式では、85歳以上の参加者9人に長寿賞が贈られ、最高齢は2年連続で91歳の幸福フクエさん(花野支部)でした。

コート内では、日頃の練習の成果が発揮され、真剣な眼差しでボールを打ち、白熱した元気ハツラツなプレーが繰り広げられました。

今回、熱い戦いを勝ち取り優勝に輝いたのは、桜島小池チームでした。

今大会の成績は下記の通りです。

【優勝】桜島小池チーム

【2位】吉野チーム

【3位】桜島藤野チーム



優勝

桜島小池チーム



第3位

桜島藤野チーム



第2位

吉野チーム

長寿賞

①ゲートボール歴 ②あなたにとってゲートボールとは? ③健康の秘訣



【花野】
幸福フクエさん(91歳)

- ①15~6年
- ②生きがい。週に2回の練習が
楽しみで休まず行ってます
- ③喋ること、食べること



【桜島】
藤坂宣夫さん(88歳)

- ①13~4年
- ②生きがい
- ③外に出てみんなと顔を合わ
すこと



【桜島】
上山サダオさん(86歳)

- ①38年
- ②生きがい。練習のときにみんな
と話をする時間が楽しみ
- ③ゲートボール



【桜島】
日高キフエさん(86歳)

- ①14~5年
- ②みんなと一緒にゲートボールを
するのが1番の楽しみ
- ③畑仕事と昼からのゲートボール
の練習



【花野】
迫 善子さん(86歳)

- ①15年
- ②大好き♡
- ③歩くこと。ゲートボール、
グラウンドゴルフの練習も
歩いて行ってます。



【桜島】
濱村忠敬さん(85歳)

- ①18年
- ②健康づくり。みんなとふれあい、
話ができるのが嬉しい
- ③ゲートボール



【桜島】
西村絹子さん(85歳)

- ①18年
- ②3度の飯よりゲートボール。
家族も応援してくれている
- ③ゲートボール



【桜島】
横山俊雄さん(85歳)

- ①15年
- ②元気の源
- ③摂生な生活、歩くこと



【田上】
満留里子さん(87歳)

- ①40年
- ②健康維持
- ③週3回のゲートボールの練習

JA鹿児島みらいフェア

7月15日、Aコープ谷山店とおいどん市場と次郎館の2会場で「JA鹿児島みらいフェア」を同時開催し、大勢の来場者で賑わいました。



今回で第7弾となるおいどん市場と次郎館では、久しぶりの対面販売となり、青年部が生産した地元産の軟弱野菜やキュウリ・ピーマン・カボチャなど旬の野菜を販売しました。

また、タマネギの詰め放題は人気で、多くの人で賑わい、500個のタマネギが1時間ほどで完売しました。

両会場では、みらいサミット特産品フェアを同時開催し、名前に「みらい」が付く全国の9JAから厳選された旬の桃やG-商品のあけぼの大豆・殻付き落花生・ジューズなど24品を、JA職員が各加工品の説明を交えながらPR販売しました。



青年部 ども食堂に旬の野菜提供

7月15日、JA鹿児島みらい青年部はミズナ・コマツナ・チンゲンサイ・トマトなど旬の野菜を、市内にある「ほしがみね☆みんなの食堂」と「なかす子ども食堂」に提供しました。



同青年部では、2021年から提供する野菜を部員が持ち寄り、「地元野菜を知ってもらい、食べてもらいたい」と、年2回「ども食堂」に食材を提供しています。

田中竜矢部長が、ミズナやコマツナなど75袋とマト・タマネギを「地場産の新鮮な野菜を食べてもらいたい。これからは食材を提供していきます」と話し、「ども食堂」の代表2人に手渡しました。

みんなの食堂の田中代表は「とても助かります。90食分のお弁当配布があるのでコマツナはおひたし、ミズナはサラダの食材として使わせてもらいます」と笑顔で話していました。



ひまわりマルシェ

7月22日と23日、都市農業センターで「ひまわりマルシェ」が開かれ、買い物を楽しむ来場者で賑わいました。



同センターの中央にある大花城「四季の花園」では、春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスが咲き誇るころに年3回マルシェを開き、地元産の野菜や花加工品などを販売し、犬迫地域の魅力を伝えています。

今回ヒマワリ畑の前に設置されたテントでは、ゴーヤーやナス・トマトなどの夏野菜を中心に弁当や加工品等が販売されました。また、女性部小野支部のブースでは、部員が旬の野菜やホオズキ・ヒバ・手作りのふくれ菓子を販売し、「この日を心待ちにしていた来場者との会話を楽しみ笑顔が溢れていました。」

ふくれ菓子を購入

した女性は「マルシェの楽しみはふくれ菓子です。今日は簡単にできるナスの食べ方を教えてもらったので早速作ってみます」と声を弾ませていました。



2023年度 第1回広報誌モニター意見交換会

7月24日、本部で広報誌モニター意見交換会が開かれ、モニターと関係者24人が参加しました。

当JAでは、2018年から広報誌モニター制度を導入し、広報誌について意見や要望、誌面内容の改善、新たな企画記事の提案などモニターからの意見を検討・協議し、充実した読みとなる誌面作りに繋げています。

今年度は17人の応募があり、広報誌8月号から1月号までの誌面内容について、6ヶ月間モニターとして活動します。

意見交換会では、村山眞一郎組合長からモニターに委嘱状が手渡されたあと、広報誌モニター制度やJAの広報・PR活動、広報誌8月号の意見・要望書の記入方法等について組織広報課の坂口課長が説明しました。

モニターのひとりには「いつも楽しみにしている広報誌のモニターになって良かった。色々な意見を伝えて広報誌の誌面作りに役立てるように頑張ります」と話していました。

ハウスみかん出荷

桜島支店管内のハウスみかん農家・西村直さん(67歳)が栽培するかごしま早生が、今年も出荷されました。

西村さんは2009年からハウス(12区)でかごしま早生を栽培し、2月上旬には花が満開になるように管理作業を徹底し、手間と時間をかけて美味しい果実作りに取り組んでいます。今年も上々に仕上がった果実を眺め、「S玉中心の美味しい果実が出来ました。全国の人に美味しいハウスみかんを味わってもらいたい」と話していました。

収穫した果実は桜島柑橘選果場で選果した後、くみあい食品に出荷され、贈答用として全国の消費者に届けられました。



水稻中・後期講習会

7月18日から21日の4日間にかけて、管内18ヶ所で水稻中・後期講習会が開かれ、115人が参加しました。

北部地区では、長谷宮農指導員が小山田の中ノ甲と稲村の2ヶ所で、田植えから1ヶ月が経過した稲の状況や今後の管理作業、飛来性害虫の状況を報告したあと、病害虫防除、農薬の散布について説明しました。

また、管内で「いもち病」の発生が確認されたことを踏まえ、粒剤での防除や粉剤・水和剤等の散布目安などを伝えました。

ホオズキ出荷はじまる

小山田支店管内で農業を営む上野ノリ子さん(73歳)のハウスでは、

お盆花として人気のあるホオズキが今年も出荷されました。

上野さんは、例年ハウスでホオズキを作っていますが、今年は試験的に露地栽培にも挑戦し、両ほ場で3000本以上のホオズキを栽培しました。作業場には、早朝から収穫したホオズキが山積みされ、上野さんと妹の関山絹代さん(64歳)が1本1本下葉や傷玉を処理し、魔除けとして飾る玄関用や墓花、コンパクトサイズの仏壇用など用途に合わせて調整作業に汗を流しました。

また、夏休みで帰省していた孫の上野結愛さん(12歳)と智暉さん(10歳)も助っ人として加わり、作業場には賑やかな声が響き渡っていました。



玉龍中学校の生徒が訪問学習

7月14日、玉龍中学校の1年生5人が市内自主研修・訪問学習としてJAを訪れ、「食と農について」をテーマに学びました。



同中学校では、1年生120人が総合的な学習の時間で「かごしま学」の一環として、それぞれのテーマに基づいた校外学習活動を行い、郷土「かごしま」に対する新聞を作って理解を深めることを目的にしています。

リーダーの野村悠仁さん(13歳)が、①JAではどのように環境に配慮しているか②食品ロスの取り組み③作物を新鮮な状態に保つための対策など、6項目について質問。宮農経済部の松岡宮農指導員がアグリタウン小山田の環境に配慮した野菜作りや、収穫から出荷まで鮮度を保つための完全コールドチェーン化のしくみについて説明しました。

また、食品ロスを抑えるために、廃棄される野菜を再利用して商品化に繋げようと、色々な商品作りにも挑戦している6次化産業への取り組みについても話しました。

野村さんは「貴重な話がたくさん聞けた。情報をまとめて新聞作りに繋げたい」と笑顔で話していました。



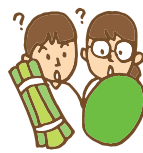
玉龍中学校の3年生が職場体験学習

7月13・14日の2日間、玉龍中学校の松葉瀬妃莉さん(14歳)と濱田望空さん(15歳)が職場体験学習のため、農産物直売所「かごしま」を訪れました。生産農家や来店者との会話を楽しみながら、陳列棚の整理やレジの補助などを体験しました。

中でも生産農家を持ち込んだ「みがしき」と「冬瓜」を初めて見たふたりは興味津々で、農家や職員にレシピを聞き「美味しそう。早速料理に挑戦します」と笑顔で話していました。

また、「かごしま」が5月から取り組んでいるダンボールコンポスター(通称ポイット丸)で廃棄野菜を使った堆肥作りも体験し、「生ごみのリサイクルですね。家や学校で堆肥作りに挑戦してみたい」と話していました。

体験を終えたふたりは「直売所の魅力を学びました。苦手の野菜を克服して将来は兼業農家を目指して頑張ります」と声を弾ませていました。



桜島小みかん摘果講習会

7月25日、桜島柑橘ハウス振興会は桜島小みかん「紅さくら」の摘果講習会を開き、会員と関係者25人が参加しました。

桜島武町の園地では、長元宮農指導員が①隔年結果の防止②品質向上と商品性向上③収穫作業の労力軽減に繋げるため8月末までに摘果作業を徹底するよう伝えました。

引き続き、鹿児島地域振興局の平山慶幸技術専門員が紅さくらの生産安定対策と隔年結果対策など今後の課題について報告しました。

実技研修では、横径15mm以下の極小果の確認と腰から下の内なり果の摘果など、果実の大きさを確かめながら摘果作業を行い、今後の管理作業を再確認しました。

白川隆会長は「安定出荷に向けて、摘果作業など夏の作業を気張って、美味しい桜島小みかんを全国の消費者に届けたい」と話していました。



軟弱野菜生産部会が 土壌還元消毒現地実証試験

7月21日、軟弱野菜生産部会(通称・優ラ良部会)の仮
屋孝さん(58歳)のハウスで、軟弱野菜で初となる土壌改良剤「糖含
有珪藻土」による土壌還元消毒現地実証試験が行われ、県や市、農家、
メーカー、JAなど計30人が参加しました。

土壌還元消毒は、還元資材などの微生物の餌に
なる有機物を土壌に混和して灌水し、ビニールで3
週間ほど土壌の表面を被覆して、空気の流入を遮
断しながら高い地温を維持する消毒方法で、地温
が30度以上の条件を満たす5月から9月が適して
います。

今回使用した糖含有珪藻土は散布が容易で効果
が高く可溶性の有機物(糖)が溶解し、深さ60cmまで
還元消毒が可能のため、深い位置にいるセンチュウ
や病原菌に対して効果が期待できます。

現地では、株式会社サナス食品澱粉原料対策課の
加治佐博課長が糖含有珪藻土を用いた土壌還元消
毒技術について説明したあと、試験ほ場となるハウ
ス(189㎡)に糖含有珪藻土を散布し、
トラクターで耕耘、灌水、被覆ビニールの
準備までの実演を交えて紹介しました。

仮屋さんは「2023年5月から土壌
還元消毒を実施した3棟のハウスで軟弱
野菜を作りながら消毒の効果や生育状
況を確認している。今回4棟目のハウス
も試験栽培をしながら循環型で環境に
優しい野菜作りに繋がりたい」と話してい
ました。



太陽光遮光剤 Q3ホワイト散布

7月24日から、温暖化対
策のひとつとして太陽光遮光剤「Q3ホ
ワイト」の散布作業が始まりました。

ハウス内の極端な温度上昇の防止や
作業環境の改善、作物の生育促進のため、8月上旬までに軟弱野菜生産部会
(通称・優ラ良)を中心にハウス133棟
(7,753㎡)に散布しました。

今回、同部会の仮屋孝会長のハウスで
は、ドローンでの試験散布と動噴機を使っ
た手散布を行い、遮光
剤の効果期間や生育状
況等を調査します。

仮屋会長は「遮光剤
を散布することで夏場
でも安定出荷できる。
今年の夏も美味しい野
菜を消費者
に届けます」
と話してい
ました。



ふれあいみいちゃん会で ヨガ楽しむ

7月24日、女性部西谷山支部
はグリーンセンター西谷山2階
で交流活動「ふれあい・みいちゃん会」を開き、
地域住民や部員ら20人が参加しました。

同支部では、2019年から地域住民を元
気にしたいと、気軽に立ち寄れる拠り所「みい
ちゃん会」を立ち上げ、月に1回カラオケや体
操などを楽しみながら高齢者との交流活動に
取り組んでいます。

今回は、2年ぶりに気軽に楽しめるヨガ教
室を開き、インストラクターの杉山幸美さん
(54歳)がリンパマッサージや血行をよくする
ヨガを指導し、参加者は楽しみながらヨガが
出来て大満足。体が軽くなりました」と笑顔
いっぱいでした。

川畑功美子支部長は「家でも出来るヨガな
ので自分の体調に合わせて生活の中に取り入
れてほしい」と話していま
した。



女性部通信

小山田支部 清掃活動

7月18日、活動拠点である小山田生活改善センターの清掃活動を行い、部員18人が参加しました。

同支部は年2回(7月と12月)清掃活動を行っており、今回は、早朝から2時間かけて同センター周辺の青々と生い茂った草取りと草払いに汗を流しました。

また、施設内では床掃除や食器棚の整理、窓ガラス拭きなどを行い、清掃後は冷たいお茶で喉を潤しながら近況報告をし合い、癒しの時間となりました。

末吉キヨ子支部長は「部員の高齢化に伴い足腰が痛む人も多く大変だが、清掃後のお茶会も部員の楽しみになっているので今後も続けていきたい」と話していました。



職員とのランチ交流会で

牛肉たっぷりオリジナル ハヤシライス振舞う

7月14日、田上支部は田上くらしのセンターで支店職員とのランチ交流会を開き、部員5人が集まりました。同支部では、2022年から年に1回、職員との交流を目的にランチ交流会を開催しています。

今回は、市販のルーは使わず、トマト缶やウスターソースなどを使ったオリジナルのハヤシライスのルーに、たっぷり牛肉5kgを入れ、目玉焼きをのせて贅沢に仕上げ、職員との交流を楽しみました。

長寄民代支部長は「職員が喜んでおかわりして食べてくれて嬉しい。職員との交流を今後も大切にしたい」と話していました。

木原健支店長は初めての田上支部ランチ交流会に「牛肉の旨味がしっかり出たハヤシライスが美味しかった。部員と職員がゆつくり交流できてよかった」と話していました。



男の料理教室開催

料理を作る喜び知る

7月20日、かこしま環境未来館で男の料理教室が開かれ、初参加の2人を含む5人が参加しました。

同料理教室では、女性部が講師となり、食と健康、基本の料理法を学び、料理を作る楽しさを体験してもらう目的で、北部・中央地区・南部地区でそれぞれ年2回開催しています。

今回は、2班に分かれてパプリカやナスなど夏野菜を使ったトマトパスタや、カボチャの冷製ポタージュなど4品を女性部の指導を受けながら一生懸命作りました。

完成した料理は全員で試食し、参加者は「美味しくてできて良かった。今まで食べる喜びはあったが、料理教室に参加して作る喜びを知った」と嬉しそうに話していました。

また、参加者から「中華系を作ってみたい」「家にある食材で簡単にできるものを作ってみたい」などの要望もありました。



★9月の運勢★

牡羊座 3/21~4/19

【全体運】用事が山積みでため息が出がち。ただ、思っているよりも動けます。効率良く動いてあなたの実力をアピール
【健康運】スキンケアに力を入れて。無理な減量は禁物
【幸運の食べ物】エリンギ

牡牛座 4/20~5/20

【全体運】好調運。心配事は取り越し苦労に終わりそう。抱え込まず人と話すと楽になります。買い物は計画性を発揮して◎
【健康運】胃腸を大切に。消化のいい食事を心がけて
【幸運の食べ物】シシトウ

支店企画

中山支店



職員からのコメント

- 「ボリュームミーなカツと具だくさんのカレーがおいしく、おかわりして、おなかいっぱいになりました。ありがとうございました」
- 「おかげさまで、夕食は楽しかせてもらいました。当日に向けての準備から、朝早くからの作業などありがとうございました」
- 「★また、来年も楽しみです(*^-^*)」

「中山支店 女性部」と中山支店職員との毎年恒例の昼食会が開かれました。今回のメニューは、「カツカレー・サラダ・デザートのスイカ」でした。カレーに入っているお野菜は、ご自宅で収穫されたものを持ち寄り作っていただきました(*^-^*)。

水口女性部長からのコメント

「みなさんが、喜んで食べてくださり作り甲斐があります。また、多めに作り、女子職員に持ち帰ってもらうことで、『毎日、仕事と子育ての両立も大変なので、少しでも手助けになれば』という思いで部員のみなさんと作りました。そしてまた、女性部員が野菜を持ち寄っていただき、とても助かりました」



支店広報担当
川俣職員



支店企画

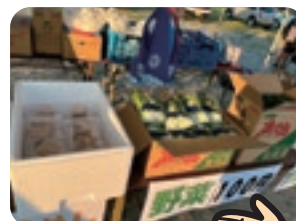
郡元支店

7月29日、中間公園で4年ぶりに開催された「宇宿中間町内会夏祭り」に樋口智地区理事と職員が参加しました。

JAのブースでは、地元生産農家が作ったカボチャやコマツナ、チンゲンサイなど新鮮で安心・安全な野菜を販売。JAのPRをしながら地域の方との交流を楽しみました。

また、昔から地元飯(伝統料理)として地域で受け継がれている「鶏めし」を、地域の方々と協力しながら300人分調理。大きな羽釜にお米と地鶏、醤油やみりんなどの調味料を入れ、昔ながらの竈を使って炊き上げおにぎりにして野菜の購入者にプレゼントしました。

来場者からは「おいしい！安い！また買いに来ました」との声をいただき、大変喜ばれました。



支店広報担当
前田職員

JA鹿児島みらい版 消費税 インボイス制度 Q&A

2023年10月1日にスタートするインボイス制度の概要について3月号の広報誌でご案内しました。今回は、Q&Aとしてご説明します。なお、このQ&Aでは、用語を以下のとおり表現します。

- 適格請求書等保存方式制度 = インボイス制度
- 適格請求書 = インボイス
- 適格請求書等発行事業者 = 登録事業者

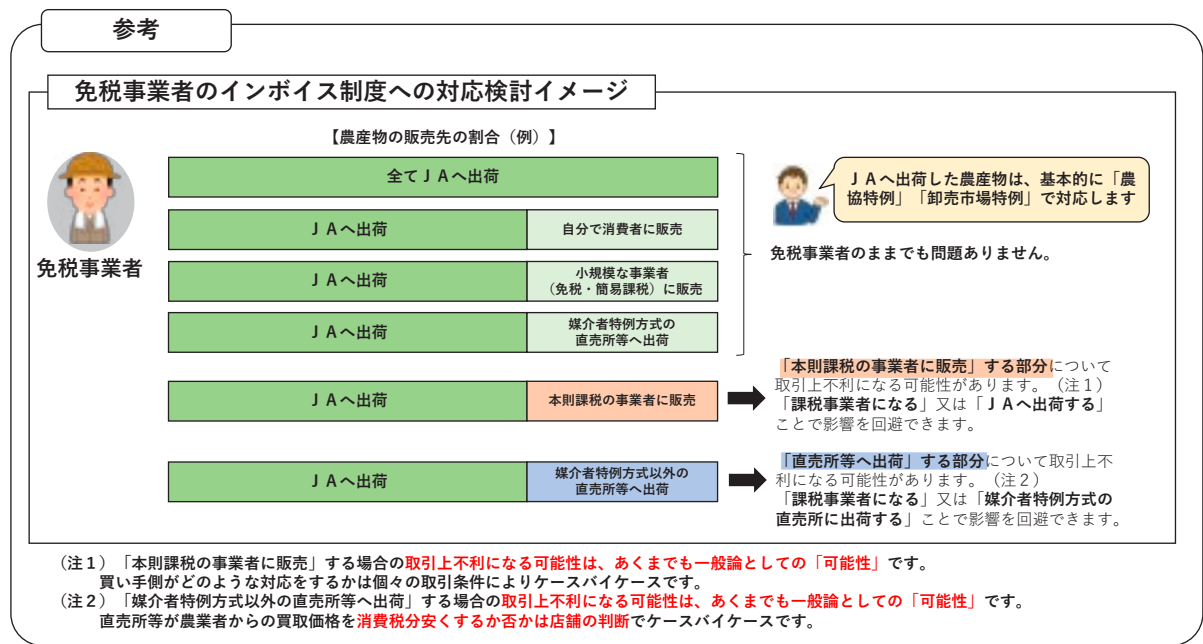
Q1 現在、免税事業者です。インボイス登録事業者になることは考えていませんが、何か不利益はあるのでしょうか。

A1 課税事業者は、売り手として預かった消費税から、買い手として支払った消費税を控除した額を納めるべき消費税として納付しています。

インボイス制度のもとでは、買い手として支払った消費税を控除する際に、登録事業者が交付するインボイス(請求書等)の保存が必要となりますが、免税事業者は当該インボイスを交付できませんので、仕入税額控除ができなくなります。そのため、免税事業者のままだと、取引を敬遠されたり、価格等の面で不利になる可能性があります。なお、令和5年10月1日から6年間は、免税事業者に支払った消費税について、一定額の仕入税額控除が認められる経過措置が適用されます。

ただし、販売先が課税事業者でない一般の消費者のみの場合やJAへの無条件委託販売を利用して農協特例の適用を受ける場合等は、インボイスは不要です。

将来的にどのような販路で農産物を販売したいのか、よく検討したうえで、登録事業者になるかどうかの判断が必要になります。



Q2 現在、免税事業者です。インボイス制度導入後も、請求書に消費税を記載して請求してもよいのでしょうか。

A2 免税事業者が消費税を記載して請求することは可能です。

ただし、免税事業者は登録事業者ではなくインボイスを交付できないため、課税事業者である買い手は請求された消費税をそのまま仕入税額控除できません。

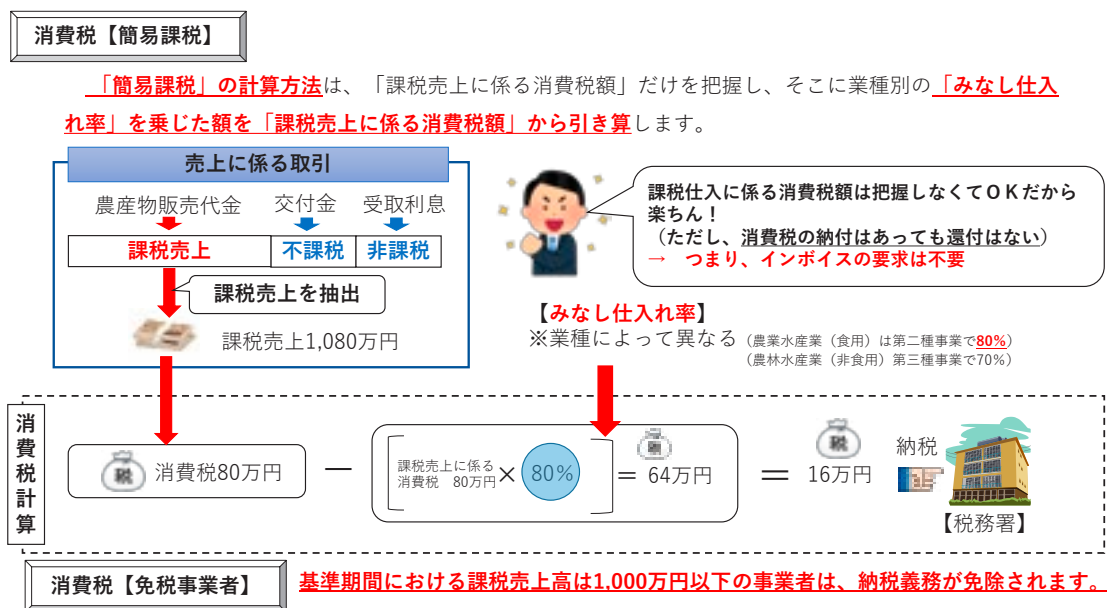
そのため、当該買い手から支払いについての交渉の可能性があります。

Q3 一度登録事業者になると免税事業者には戻れないのでしょうか。

A3 登録取消し届出書を提出することで登録事業者の効力を失わせることができますが、現行制度では、届出書を提出した課税期間からの撤回とはなりませんので、詳しくは国税庁ホームページをご確認ください。なお、売上が1000万円未満になったからといって自動的に登録事業者でなくなるわけではないことに注意してください。

Q4 現在、免税事業者です。インボイス登録事業者になったら消費税の計算をして納税する必要がありそうですが、個人でできるか不安です。

A4 登録事業者になっても本則課税制度、簡易課税制度があり、消費税簡易課税制度選択届出書を提出することで、簡易に消費税額を計算することができます。



Q5 ごしゅらん・Aコープ・おいどん市場の対応を教えてください。

A5 JA直売所では、課税事業者の委託販売物について、JA・経済連の登録番号を利用し、JA・経済連が委託者に代わってインボイスを発行する「媒介者交付特例」を活用いただけます。当該特例の活用をご希望される方は、事前に当JAに登録番号を提供いただく必要があります。

また、免税事業者からの委託販売も従来のとおり受け付けております。

Q6 鹿児島中央家畜市場への子牛の上場について対応を教えてください。

A6 鹿児島県中央家畜市場では、課税事業者の委託販売物について、当該市場の登録番号を利用し当該市場が委託者に代わってインボイスを発行する「媒介者交付特例」を活用いただけます。当該特例の活用をご希望される方は、事前に当JAに登録番号を提供いただく必要があります。

また、免税事業者からの上場も従来のとおり受け付けております。

Q7 上記以外の委託販売にかかる対応を教えてください。

A7 当JAでは、免税事業者からの委託販売について、販売価格への影響を最小化するために、「農協特例」「媒介者交付特例」等の制度利用をすすめてまいります。

委託販売品目は多岐にわたり、その商流も多様ですので、個別に部会等に対応方針をお繋ぎさせていただいております。特に「農協特例」については、要件のひとつとして、JAは組合員からの出荷を受ける必要がありますので、現在組合員外で出荷をされている方については、組合員加入のご検討をよろしくお願いいたします。

家庭菜園



ミニダイコン

みずみずしくて甘い、とりたてダイコン

1.種まき

小さなくぼみをつけて5粒の種を点まきに

1か所に5粒の点まきにします。発芽までは4〜5日。最後は1本だけを残すので、多少発芽が悪くても、心配ありません。



プランターの中央に、直径5cm、深さ1〜2cmのくぼみをつける。プリン型のようなものを押しつけると簡単ができる。くぼみの間隔は15〜20cm程度。



くぼみに種を5粒まく。種がくっつきすぎていると間引きがしにくいので、くぼみの縁に沿って間をあけてまく。土をかけて手のひらで押さえて、たっぷりと水やりする。

2.間引き・追肥

間引き3回、追肥は2回、じっくり根を太らせる

双葉が開いたら3本、本葉3枚で2本、本葉5枚で1本に間引きます。2回目の間引き後に化成肥料をまきます。3回目の間引きのあとに最後の追肥を。



1回目の間引きは双葉が開いたら。1か所3本に間引く。その後、本葉3枚で2回目の間引き。2本に間引き、化成肥料を1株あたり3〜4gまく。



3回目の間引きは本葉5枚のとき。1か所1本にして、化成肥料を1株あたり3〜4g株のまわりにまき、土が減っているようなら、新しい土を足す。

3.収穫

根元の直径が7〜8cmになったらとりごろ

2回目の間引き以後の間引き菜は、さわやかな辛みがおいしい葉ダイコン。むだなく利用してください。



葉がやわらかい間引き菜は、おひたしや煮びたしで。



根が十分に太ったら根元を持って引き抜く。

不動産センターからのお知らせ

JR慈眼寺駅 徒歩18分	2DK
賃料	家賃 50,000円
スーパーまで徒歩2分圏内	
物件名	エクセリーヌホワイト 201号室
所在地	鹿児島市和田1丁目4-16
間取り	洋6 和6 DK6
敷金	2ヶ月 (要損保加入)
駐車場	1台付無料/2台目4,000円
構造	軽量鉄骨造
占有面積	40.06㎡
	駐車場2台目紹介可



賃貸物件、家・土地の売買、リフォーム
(外壁塗装・屋根・瓦・内装・浴室・トイレ・
台所等)のご相談承ります。
お気軽にお問い合わせください。

「売却物件」(土地・住宅・賃貸物件)
のご相談承ります。(無料査定・秘密厳守)
お気軽にお問い合わせください。

JA鹿児島みらい 不動産センター

鹿児島市東谷山2丁目22-23

JA鹿児島みらい 谷山東部支店2階

TEL 099-268-2263 FAX 099-260-9591

E-mail tny.100-105@ks-ja.or.jp

http://ja-kagoshimamirai.com/



★9月の運勢★
射手座
11/23〜12/21

【全体運】責任ある役回りを引き受けて。大変でもやりがいがあり、人望を得られます。目標は大きく持って。買い物に吉
【健康運】目の疲れからくる肩凝りや首の痛みに気を付けて
【幸運の食べ物】リンゴ

山羊座
12/22〜1/19

【全体運】好調運です。ラッキーが舞い込む予感。ピンチに思えることもより活躍するためのきっかけです。前向きに捉えて
【健康運】腰痛、関節痛は早めにケアを。サポーターが吉
【幸運の食べ物】カボチャ

カボチャ

カボチャは、肌や粘膜を丈夫にし、免疫力を高めるβカロテンが豊富に含まれているのが特徴です。果肉よりも皮の部分に多く含まれるため、薄く切るなどして皮ごと調理しましょう。また、油との相性が良く、熱にも強いので揚げ物や炒め物などで油と一緒に摂るとβカロテンやビタミンEの吸収率が高まります。さらに、食物繊維も豊富で、生活習慣病や美容が気になる方にもオススメ。単独で使うよりも、他の旬の野菜と上手に組み合わせ、野菜量を増やすと無理なく食べられます。また、茹でるか蒸してつぶし、のどごしのよいポタージュにするのもおすすめです。



経営企画部
福山生活指導員

カボチャの冷製ポタージュ

材料(4人分)

カボチャ …… (500g) 1/3個
タマネギ …… (200g) 1個
バター …… 20g
牛乳 …… 600mL
塩・コショウ …… 少々
パセリ(みじん切り) …… 適宜



作り方

- ①カボチャは種とわたを取り除き、ラップで包んで電子レンジ(600W)で1分30秒加熱する。皮をそぎ落として2cm角に切る。タマネギは薄切りにする。
- ②鍋にバター、タマネギを入れ、弱火できつね色になるまで炒める。塩、コショウ各少々で味をととのえる。
- ③牛乳、カボチャを加え、弱めの中火で10分煮る。
- ④あら熱が取れたらミキサーでかくはんし、冷蔵庫で冷やす。
- ⑤器に盛り、パセリ適量をふる。

カボチャのヨーグルトサラダ

材料(4人分)

カボチャ …… 1/4個(300g)
干しブドウ …… 30g
クルミ(空煎りしたもの) 10g
プレーンヨーグルト
(無糖) …… 150g
A マヨネーズ 大さじ1/2
砂糖 …… 小さじ2
塩…少々 ハチミツ…適宜



作り方

- ①カボチャは種とわたを除き、大きめの一口大に切る。鍋にカボチャとひたひたの水、塩少々を入れて7分ゆでる。火が通ったら、水を捨てて粉ふきにし、あら熱を取る。
 - ②ボウルにAを合わせて①のカボチャを和える。
 - ③カボチャのボウルに干しブドウと刻んだクルミを加えて軽く混ぜ、冷蔵庫で冷やしておく。
 - ④器に盛り、好みでハチミツ適量をかける。
- *砂糖は、カボチャの甘さによってかげんする。

JADDOカード優待店舗のご紹介

「屋久島で民宿やっていました」(店名)



住 所 鹿児島市千石町11-7
吉俣ビル2F
電話番号 090-7476-3369
営業時間 14:14~16:16の間にOPEN
~翌01:01CLOSE(23:23LO)
定休日 火曜日
駐車場 なし



屋久島の美味しい魚を食べてほしい!!という店主平田さんの熱い思いで、毎朝高速船で届く屋久島名物の新鮮な魚介類が食べられる居酒屋です。首折れサバの刺身は鮮度が命のため水揚げされたその日しか刺身で食べられず、噛めば噛むほど旨味が溢れる人気メニューです。また、トビウオの姿揚げは、身はぷりぷりフワフワ、頭から羽までサクサク丸ごと美味しくいただけます。屋久島の焼酎も品ぞろえ豊富で美味しい料理との相性抜群!! 屋久島タンカンやパッションフルーツを使ったサワーやビール、ハイボールなどもあり、女性に人気です。お皿、コースター、箸置きなどは、屋久杉を使い、店内の至る所で屋久島の温もりを感じます。14:14~16:16の間に開店という天文館でも珍しい少し早めの開店も魅力となっています。平田さん自慢の美味しい屋久島の海の幸、山の幸をぜひご賞味ください。

JADDOカード特典 ファーストドリンク100円引き

読者からの

おたより



★野菜作りはいつも1年生です。お元

な羽子田様のトマト作りびつくりです。勉強になります。ありがとうございます

(ペンネーム：みつちゃん)

★毎回楽しみにしております。たくさんの情報をありがとうございます。子供たちの田植え経験など素晴らしい体験ができていいなあと思います。読み応えがあります

(ペンネーム：みーちゃん)

★羽子田さんのたのしみながらのトマト作りの記事を読んでアイデアが多く安全で美味しい旬の野菜を届けること、これが元気の源となっているとは素晴らしい

ですね。見習いたいです

(ペンネーム：吉野のキヨトン)

★おくらの苗を買ってきて庭の畑の角に植えました。苗も大きく育ち実もなりました。実は大きければ大きいほどうまくだろうと思う大きくなって切り食べました。皮が硬く食べられなかった

(ペンネーム：フーテン)

★坂之上支店の近くに住んでいても知らないこともあり「みらい」を通じて知ることにも多く楽しみにして読んでいます。またクロスワードパズルが大好きで毎回楽しませてもらっています。9月2日は久しぶりに総会で阿久根方面へ行けることも有難いです。これからもよろしくお願ひします

(ペンネーム：エミリー)

装いあらたに…

(天祥館東谷山斎場外壁色リニューアル)

このたび、天祥館東谷山斎場は、装いをあらたに外壁色を、白地から茶色をモチーフとしたツートンカラーにリニューアルいたしました。



持続可能な社会を目指す！

SDGsの行動として、JAの具体的な取組み事例を紹介します。組合員の皆様も様々な社会の課題とSDGsとのつながりを学び、今日から実践できる取組みを共に考えましょう。

●こども食堂への食材提供(P4)

ボランティアの方々と連携し、成長期の子供たちの食と健康をささえる



●中学生の直売所での職場体験(P6)

生産農家との交流や食のありがたさを学ぶ



単位:頭・円 (税抜価格)

8月子牛セリ市成績表(売却のみ)

	みらい計	畜連計
総頭数	111	347
総平均	468,649	468,810
めす	頭数	57
	最高	511,000
	最低	295,000
	平均	405,123
去勢	頭数	54
	最高	851,000
	最低	270,000
	平均	535,704

JA鹿児島みらいの概況(2023年7月末)

正組合員数	5,733人
准組合員数	36,835人
総組合員数	42,568人
貯金残高	2,833億8千8百万円
貸付金残高	972億5百万円
長期共済保有高	5,555億4千9百万円



正解者の中から抽選で10名の方に
農協共通商品券をお送りいたします。

応募方法

左下のハガキを切り取り、必要事項をご記入の上、

- ①支店窓口にお持ちいただくか、
- ②63円切手を貼ってポストに投函してください。

[締切] 2023年10月13日(金) 必着

クイズの答えにおたよりを添えて、どしどしご応募ください。身近な地域の話題・イラスト・絵手紙・写真などの作品もお待ちしております。
[おたより]クイズの答えにまつわるエピソードのほか、JAに対するご意見・ご感想、良かった記事など教えてください。

二重マスの文字をA～Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？



A	B	C	D
---	---	---	---

⇒ヨコのカギ

- 1 十五夜に飾る植物
- 2 帰り道のこと
- 3 葉はコアラの餌になります
- 4 2の3——は6
- 5 必要以上に子どもを甘やかすこと
- 8 羹(あつもの)に懲りて——を吹く
- 10 発車——の新幹線に何とか乗り込んだ
- 12 奈良や和歌山がある地域
- 13 漢字で書くと竜胆。青紫色の花を咲かせます
- 14 台風——、よく晴れたね
- 16 吉永小百合さんの場合はサユリスト
- 18 ml、mgの「m」
- 20 お金を借りると付くことも

- ＊花好き娘
- ＊わんきち
- ＊タコ兄ちゃん
- ＊うめちゃん
- ＊宇宙の70代

8月号お楽しみクイズ
当選者発表(敬称略)



A	B	C	D	E
サ	ー	フ	イ	ン

8月号の答え

- 1 ボンベを担いで——ダイビン
グを楽しんだ
- 6 アンダー——の左腕投手
- 7 収穫期の田んぼで金色に輝き
ます
- 9 陶磁器はこの中で焼き上げら
れます
- 11 ——に敬老の日のプレゼント
をもらった
- 12 「ギィー、チヨコ」と鳴く虫
陽(よう)の反対語
- 14 汁物をよそう食器の1つ
- 15 十五夜に楽しむもの
- 17 ピラフにホワイトソースをかけ
て焼いたもの
- 19 父と母のこと

↓タテのカギ

▼本誌へのご意見、身近な地域の話題、イラスト、絵手紙、写真など
お書きください。

お楽しみクイズの 掲載について

広報誌「みらい」をいつもご愛読いただきありがとうございます。広報誌「みらい」は2023年5月から毎月発行しております。お楽しみクイズに関して応募期間が以前の隔月発行に比べて大変短くなっており、読者の方に大変ご迷惑をおかけしております。

今後は、奇数月のみにお楽しみクイズを掲載し、当選者は2ヶ月後に発行される広報誌で発表させていただきます。(例: 広報誌9月号お楽しみクイズの当選者は広報誌11月号の誌面で発表)

偶数月には、様々なテーマで情報を掲載してまいります。

素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。ご了承ください。



うば桜



つるひめ



ひめちゃん10才



道男君



ひいこちゃん



ふるさと納税



まりちゃん



わんきち



チコばあ



トコ



ヒーちゃん



星蛾ミ子



花好き娘



のんちゃん

JAネットバンク・JAバンクアプリ



お手持ちのパソコン・スマートフォンで

月額使用料
無料!!

「いつでも、どこでも、手軽で便利!」

▼ 主な機能 ▼



- 残高照会
- 入出金明細照会
- 振込・振替
- 税金・各種料金の払込み
- 定期貯金
- ローン繰上返済
- カードローン



JAバンクアプリ

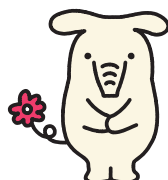
- 残高照会
- 入出金明細照会
- 投信残高照会
- 定期預入明細照会
- PayB (払込票決済)

JAネットバンクのお申込み
JAバンクアプリのダウンロードはこちら

振込などは



残高照会などは



© よりぞう

郵便はがき

〒63 円切手を貼って下さい。
又は JA 窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿児島市小川町27番17号

JA鹿児島みらい本部

広報誌 9月号

「お楽しみクイズ」係

9月号 クイズの答え					
お名前		年齢		性別	男・女
住所	〒 —				
電話番号					

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、抽選、商品発送以外の目的で使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。